

2018年9月27日

国連責任投資原則(PRI) 2017年アセスメント結果 ～全分野でグローバル平均以上の評価を獲得～

第一生命保険株式会社(代表取締役社長:稲垣 精二、以下「当社」)は、責任投資(ESG投資およびスチュワードシップ活動)の取組みを持続的にレベルアップするため、2015年に責任投資のグローバルスタンダードである国連責任投資原則(以下「PRI」)に署名しています。今般、2017年のPRI年次アセスメントの結果が判明したため、お知らせします。

当社は、今回のPRI年次アセスメントにおいて、全ての分野でグローバルのPRI署名機関平均以上の評価を得たほか、スチュワードシップ活動および不動産投資については最高評価であるA+を獲得しています。

今回のアセスメント結果を踏まえ、社債発行体への対話を検討開始するなど、当社の責任投資の取組みの更なるレベルアップに繋げていきます。

1. PRI署名の目的

グローバルな動向を踏まえて毎年見直されるアセスメントを継続的に受けることで、当社の責任投資の取組みを持続的にレベルアップするため

2. 年次アセスメント結果

分野	2017年		アセスメント結果を踏まえた今後の主な取組
	当社評価	署名機関平均	
戦略とガバナンス	A	A	責任投資の普及・促進に資する活動強化
上場株投資	A	B	ESGインテグレーションのパフォーマンスへの影響測定
スチュワードシップ活動	A+	B	(グローバルな動向を踏まえ、更なるレベルアップを検討)
債券投資	B	B	社債発行体への対話実施を検討
不動産投資	A+	B	(グローバルな動向を踏まえ、更なるレベルアップを検討)

(※)債券投資は、4分野(国債等、社債(金融)、社債(非金融)、証券化商品)の平均を記載

<PRIの概要>

PRIは、持続可能な社会を実現させるため、機関投資家に対して責任投資の実施を提唱する原則(イニシアティブ)です。2005年の発足以降、グローバルで署名機関が増加しており、足元では日本で65社、グローバルでは2,116社(2018年9月26日時点)の金融機関等が署名しています。

署名機関は毎年、責任投資の態勢や取組み状況等の観点で、PRIからアセスメントを受け、6段階(A+、A～E)のランクで評価されます。PRIのアセスメント項目は、グローバルな責任投資に係る動向等を踏まえて毎年見直されることから、アセスメントを継続的に受けることで、当社の責任投資の取組み水準を持続的に向上させることができると考えています。